役員会資料

2021.7.3

会計課題について

橋本

会計に関する問題について考えてみました。
下記の案に関して、会員の意見をアンケートで聞いてみたいです。（1.～3.）
4.5.については、アイデアの段階。役員の皆さんのご意見をお聞きしたい。

１．繰越金について

繰越金は500万円以上あり、増え続ける傾向にある。

(1)　今年度の会費（半年分）を徴収する代わりに**繰越金から拠出**していいか？
(2)　繰越金は、（将来）**何に使えばいい**と思いますか？（できるだけ具体的に）
　例：会費を下げて、繰越金の残高を減らす、防災用に〇〇を購入する
　　〇〇の外注費として消費する　など
　（　　）
(3)　繰越金として**適正と思われる金額**はいくら位だと思いますか？
　（万一の時のためにいくら残しておくといいか？）
　0、100、200、300、400、500万円　←いずれかに〇をつけてもらう
　［注：繰越金については急がず、意見交換して中期的に合意を形成したい］

２．会費について

会費は月￥300で、半年に￥1,800ずつ、計¥3,600/年、集金している。集金に手間がかかるという連絡員の不満が大きい。

(1)　**会費を￥250/月**にする。￥3,000/年となり集金の際、お釣りなど（小銭の）手間が減る。［注：**自治会規約第26条2.を改正**する必要あり］
(2)　また、**集金を年１回**にする。
(3)　かつ、会員（ブロック員）が**連絡員宅に持参**する。

３．入会金について

入会金は、当初、街路灯の整備のために徴収された。第35回定期総会（平成17年度）で入会金廃止が検討されたが、街路灯更新のために必要とされ、そのまま残り現在に至る。今年度、街路灯の管理を市に移管するので、入会金徴収の名目がなくなる。**入会金廃止を提案します**。［注：**自治会規約第26条1.を改正**する必要あり］

《入会金廃止のメリット》
・新たな入会のハードルが少し下がる。・集金の手間が減る。

《入会金廃止のデメリット》
・収入が減少するが、年間数千円程度。

４．役員・連絡員の報酬（慰労）について

　真面目にやられる方の労へ報いたい、役員のなり手がいない、ただし、今までの役員・連絡員は無報酬でやってきた。

《提 案》

(1) 役員

・役員会での茶菓代　1回300-500円（出席者のみ）
・自治会費（￥3,600/年）の免除（原則6割出席必要、会長が次年度の免除の可否判断）
・ゴミ当番、1回パス　　（　　〃　　）

(2) 連絡員

・次年度の自治会費（￥3,600/年）の免除
・次年度のゴミ当番を1回パス
［理由：報酬を現金で出すには急激な変化となり、今までの役員とのギャップが大きい。役員会に茶菓子を出すとリラックスして話ができる？少しの役得は許される？］

５．準会員の新設について

〈背 景〉

・自治会に入会しない人、退会する人がいる（任意団体なので入会、退会は自由）
・役員・連絡員になるのが負担、ゴミ出しなど最小限の機能だけで良いという人がいる

〈提 案〉

・準会員を新設する。
・従来の会員は全く変更なし
・ゴミ当番は、ゴミステーション利用者全員で担当する（会員、準会員を問わず）
・準会員は、ゴミ当番以外の責務は一切なし。ただ、ゴミステーション使用料として、￥1,000/年、支払う。
・もし、準会員が、一般会員と同等の防災備蓄品を使用する権利を要求する場合は、別途、￥1,000/年支払う。

６．今後の収支の見通し

「±」→・古いおうちが一軒なくなり、新しいおうちが二軒できて、そのうち一軒が入会すれば、会員数は変わらない。会費の収入に大きな変化はない（会費の額を変えなければ）。
「＋」→・バス旅行を廃止すれば、また祭りがなければ、大幅に収支は改善する。
「－」→・再生資源奨励金が減額されそう。
・防災備蓄品の整備にお金がかかりそう。
・クリーン作戦を将来、外注すれば資金が必要になる
・ごみの排出・管理にお金がかかりそう。将来、外注化？監視員の募集？
・役員・連絡員の会費免除、10万円/年くらい。

「ご意見欄」

・2.会費の集金を年1回にすることには賛成します。集金方法は連絡員にお任せで良いかと思います。あまり細かく決め込むとやりにくく感じます。
3.入会金の廃止には賛成です。
4.役員会での茶菓代はあっても良いと思います。会費免除・ゴミ当番パスには賛成しません。
5.準会員の案は良いとは思いますが、役員を担うことに負担を感じている方が多くいる中で、現状の自治会員が準会員へ多く流れませんか？懸念します。（西川　7/6）

・１．繰越金：100万円位が妥当かと思います（適正金額算出には資産総額を調べる必要あり）
２．会費：月250円＝年間3,000円への減額を希望。（ただ、まずは会員に必要な「物・事」の再定義を行うことが必要）。年1回徴収は良いと思います。
３．入会金：徴収根拠が無くなりましたので、当然 廃止でよいと思います。
４．役員や連絡員の慰労：会議のお茶代など、福利厚生費として一定額（10万円位）を予算計上
５．準会員：もし採用されれば、私は準会員になりたいのですが可能でしょうか。（新井）

・1.）繰越金：300万円位必要かと考えていました。今後、水害、地震など自然災害で大きな被害が出た場合防災倉庫そのものが被災することも考えられるわけで、再起動するためにはある程度の蓄えがあった方が良いかと考えました。

2.）会費：令和２年度の支出は70万円程度でした。お祭りとバス旅行を取りやめることを前提とすれば、１世帯年額 2500～3000円で賄えることになります。令和２年度は会費徴収は前期１回分 1800円だけで総額約53万円でした。入会金廃止と再生資源奨励金の減額を考えると若干余裕を持って、お釣りの要らない 3000円/年1回 が妥当ではないかと考えました。

3.）入会金：街路灯管理の必要経費がなくなるので廃止で問題ないと思います。根拠もあることですし。（規約改正の必要はありますが…）

4.）役員・連絡員報酬：役員には何らかの特典はあっても良いかと思います。年会費免除はお得感があるかと思います。（茶菓の提供については、会議中の飲食は当分不可能と思われ持ち帰りならば可能と思いますが…個人的にはペットボトルの飲料は要らない派です）連絡員については対価なしで良いと思います。自治会員としてこのくらいの役割は担って頂きたいです。自治会の存在意味を知って頂く機会がなくなってしまいます。また、役員へのハードルも逆に高くなってしまう気がします。

5.）準会員：新設には賛成しません。これまで組織改善のために考えてきた、防災組織や福利

厚生について再構築しなければならないと思います。ゴミ問題にしても、お金を払っているのだからという言い訳がまかり通ってしまうことを懸念します。

6.)収支：お祭り・バス旅行を実施しないこととし、外注事業もなし、とすれば、何とか収支は保てるのではないかと思いますが…　（ 田口 7/8 ）

・繰越金は私も300万円くらいが妥当かな、と個人的にかつ直感的には思います。イメージは防災倉庫全体を滅失した時の復旧。会費は3000円/年、年1回集金、集金方法はおまかせでもいいと思います。準会員については、私もこちらに流れる人が出てくるかも、という考えもありました。新しい制度を作った時に無関心層がこちらに移るかも、とか。会員外の人に、共益費を請求するという考え方もあります。今後、ゴミステの監視員とか、管理の外注化とか、費用が増えるかもしれない（繰越金と矛盾するかもしれませんが）。防災関連にしても、防災に力を入れるとお金が必要になる、高齢者の避難に車いすが必要とか。あるいは、西川さん、田口さんと台中の倉庫の点検をしましたが、あまりきれいでない毛布などクリーニングするかどうか、とか、お金がかかる事を想定すると非自治会員からも、最低限の費用は請求できる仕組みを作っておいた方が良い気はします。（橋本　7/15）

・

・